

南アルプス鋸岳 1/11～13 L谷内、宮坂（松勤）

今年は例年になく早い時期からの南岸低気圧による降雪（いわゆるカミ雪）が多く、今回も3日前に降った新雪により膝から多い所で腰辺りまでのラッセルに苦しめられ当初の目的であった鋸から甲斐駒をつなげることができなかったが自分たちだけでつけたトレースをたどり鋸主峰2685mを踏むことができ充実した冬山を堪能できた3日間でした。

行動記録

1/11 快晴

AM5時茅野発 5:40 黒戸尾根下山に備えて竹宇神社に車1台デポ 6:25 釜無林道ゲート前に駐車～6:45 発 ゲートから8Km地点まで林道工事のため除雪車が入っており歩きやすく助かる 9:50 林道終点小屋。わかんラッセル開始

11:08 富士川水源地。ここから樹林の登りとなり徐々に積雪増え上部では腰までのラッセルとなり行程はかどらず。13:03 ようやく横岳峠着。このペースだと当初のテンバ予定地たる三角点ピークまではとうてい到達無理で、この時点で駒への縦走は断念し峠にベースをおいて明日鋸ピストンへの計画に変更とす。テンバ設営後明日に備えて1時間トレースづけを行う。

1/12 快晴

AM5:50 発 9:35 三角点ピーク。標高差600mのラッセル急登は結構しんどし。泊まり装備を背負ってればもっと大変なことだったであろう。この先の岩稜帯からアイゼンに履き替えやせた小さなアップダウンを慎重に越え11時角兵衛コル。戸台川から入った幕営跡あり。主峰にむけつけられたトレースをありがたく使わせてもらい急登を一登りで11:15 鋸第一高点着。さえぎるもののない360度の展望を楽しむ。ちょい先に目をやると第二高点支尾根に取り付いている10人くらいが確認できる。大分時間がかかっているようで、この先中ノ川乗越以降のラッセルは大変だろうと他人ごとながら心配になってしまう。今回大キャップ下降用に持ち上げた登攀具とロープ2本が使わずじまいになってしまい残念で名残惜しいが、ここから引き返すこととす。コルまでの急下降を慎重に処理し三角点ピークからはトレースのおかげで楽ちんに下れ14:03 テンバ帰着しゆっくりと疲れをいやす。

1/13 晴れ、風強し

AM6時下山 7:16 林道終点小屋 9:30 ゲート前駐車場。

竹宇の車を回収後茅野へ。風呂上がりになに目をやると鋸～駒がスッキリと見渡せ第一高点がスクッと立派につき立っていました。